



黒部川イルミネーションをくぐる遊覧船の光跡と



満月と花火の共演

水郷おみがわ花火大会

夜空に咲いた光の花

水郷おみがわ花火大会が8月1日に小見川大橋下流の利根川河畔で開催されました。この花火大会は、関東屈指の規模を誇り、明治時代から今年で119回目を数えます。全国の花火作り名人が競う全国尺玉コンクールのほか、フィナーレの「見ませ見せましょ小見川花火 豪華絢爛！ 日本一!!」では、8号玉3連発や特大水中スターメイン、フィナーレスターメインが放たれ、夜空や川面を鮮やかに彩りました。

また、黒部川イルミネーションは、従来の六角形のぼんぼりから丸いちょうちん型に変わり、灯りが灯されると幻想的な雰囲気になりました。

また、今年は、はんなり市も黒部運動公園で開催され、そちらもにぎわいをみせていました。



ナイアガラの仕掛け花火は圧巻

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

田んぼの楽校 かかし作り

お米を見守ってね



かかしの完成に思わず笑みが

小学生が田植えから稲刈りまでの米作りを体験する小見川少年自然の家主催の「田んぼの楽校」。小見川西小付近の楽校の田んぼで7月25日、かかし作りが行われました。グループに分かれた子どもたちはボランティアの高校生と協力し、わらでかかしを作成。中には、かかしの頭に花かんむりをつけるなど、ユニークなかかしも。作ったかかしはグループ皆で担いで運び、田んぼの端に立たせました。穂が出てきた稲の変化に次回の稲刈りが楽しみな様子でした。

サマーコンサート

聴かせて 見せて 心を一つに

「客席の皆さん、ご起立ください」。演奏会の終盤、吹奏楽を伴奏に出演者と観客とが一緒に「少年時代」を合唱する一幕もあったサマーコンサート。7月19日に開かれた山田公民館恒例のコンサートは、今年も山田中学校吹奏楽部と小見川吹奏楽団約70人が舞台上に立ち、唱歌からポップスまで幅広い楽曲を聞かせました。間にダンスあり合同演奏ありと変化に富んだプログラムに、「工夫が随所にあって、見ていても楽しい」と常連さんも大満足。暑い日曜日の昼下がり、爽やかな気分になるひとときでした。



合唱で舞台と客席が一体化

